

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	後期
授業科目名 (Course name)	社会保障論		
担当者 (Instructors)	西尾 敦史	配当年次 (Dividend year)	2
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	選択必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>社会保障は、社会問題や生活問題と切り離せない。そして社会問題は、生活問題の解決策として機能する。したがって社会問題を生活問題として考察するためには、学生自身の問題意識が欠かせない。以上の観点から本講義の目的は、社会保障を「生活」から見つめ、社会問題との関連性や学生の問題意識との関連とが結びつくように、幅広い考え方や視野を身につけ、現代における社会保障の意義を国際比較も含めて深めていくことに重点がある。授業のなかでは、社会問題を中心にしたテーマを取り入れながら質疑応答などによって理解を深める。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態 (Class form)	講義
授業の方法 (Class method)	講義を中心に、授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	現代社会におけるライフサイクルと社会保障 (イントロダクション)	現代社会における社会保障と関連づけられる社会問題を、ライフサイクルの視点から分析的に考察する	<input type="checkbox"/>
第2回	社会保障と生活問題一 (住まい、居住をとおして)	生活者の問題としての暮らしのなかの社会保障について、住まい・居住の現状と問題を具体的に提示して考える	<input type="checkbox"/>
第3回	社会保障と生活問題二 (移動・交通をとおして)	生活者の問題としての暮らしのなかの社会保障について、高齢ドライバーの問題を含めた、移動・交通の現状と問題を具体的に提示して考える	<input type="checkbox"/>
第4回	社会保障の歴史と構造	欧米の社会保障の歴史を中心にした歴史の発展過程と負担率などの国際比較、社会保障の学術的な全体像を探り、その構造 (しくみ) と機能 (はたらき) を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第5回	社会保障の財源 (費用) と寄付文化	社会保障の全体の費用の規模、部門別の内訳などの財源と費用、また寄付文化について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第6回	年金保険制度	公的年金制度の制度体系、各制度の給付の概要と負担の基本的な仕組みを学ぶ	<input type="checkbox"/>
第7回	医療保険制度	医療保険制度の沿革と概要、健康保険制度などの概要、国民医療費などの問題を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第8回	介護保険制度	介護保険制度創設の経緯と制度の概要を中心に制度の詳しい仕組みを学ぶ	<input type="checkbox"/>
第9回	労働保険制度	労働者のための労働者災害補償保険 (労災保険) と雇用保険制度の概要を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第10回	生活と社会 (子育て支援・家族政策)	ライフサイクルからみた生活の中で、子育て支援・家族政策の視点およびジェンダー意識の視点から、社会保障制度のもつ役割・機能を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第11回	消費者被害、詐欺防止と権利擁護	現代社会における消費者被害、詐欺の現状から、その被害を防ぐために政策について、権利擁護の視点から学ぶ	<input type="checkbox"/>
第12回	雇用・働き方と社会保障	雇用によって福祉を保障するワークフェアという制度・政策があるが、雇用・労働規制が社会保障に果たす役割について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第13回	社会保障における食の保障	社会保障における食の保障の意義について、公衆食堂、フードドライブ、子ども食堂などの実践をとおして学ぶ	<input type="checkbox"/>
第14回	社会保障の国際比較 (福祉レジーム論をとおして)	社会保障の国際的な政策連携を中心に、国際社会における医療や福祉について、福祉レジーム論をとおして学ぶ	<input type="checkbox"/>

第15回	社会保障と生活の課題	社会保障が当面する課題、その背景を理解し、社会保障のこれからの整備の方向を探る	□
------	------------	---	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

1. 新聞記事やインターネット記事などで社会保障問題を理解しておくこと（予習2時間） 2. 新聞やニュース、インターネットなどで社会保障（年金や雇用）について問題意識を高めること（復習2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

Teams上に提示する授業内課題、小テスト、および記述式課題については、翌週（次回）の授業の冒頭にコメントをし、フィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	社会保障に関する専門的知識・実践的能力を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	社会保障および関連分野における問題意識を持ち解決方法を探求できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各授業ごとに、Teams上に、授業内課題、小テスト、および記述式課題を掲載するので、授業翌週回までに提出すること。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障〔第19版〕：福祉を学ぶ人へ』有斐閣アルマ、2022年	
2	宮本 太郎『共生保障 〈支え合い〉の戦略』岩波新書、2017年	
3	藤原 辰史『給食の歴史』岩波新書、2018年	
4	阿部 彩『子どもの貧困：日本の不公平を考える』岩波新書、2008年	
5	権丈 善一『ちょっと気になる社会保障 V3』勁草書房、2020年	